

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	三次市立十日市小学校	校長	古本 宗久	生徒指導主事	吉羽 芳晴
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『花をさかそう大作戦』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「主体性・積極性」	2	「自己肯定感の向上」	1

取組のねらい

・学校行事等ができない中、他学年との交流が少なく、学校全体で人とのつながりを感じにくくなっている。そこで、友達の良いところを書くことを通して、人と人のつながりを大切にする共感的な人間関係形成力を育てるために、学校のよいところを紹介する活動を行う。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード おもいやり』
----------	--------------------------

<p>○コロナ禍において自伸会の活動ができない。 学校行事も中止になり、学年を超えての交流ができない。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">「なにかいい方法はないだろうか？」</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☆『花をさかそう大作戦』をしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で集まる活動ができないので、書いてもらったものを掲示する。 ・学年ごとに花びらの形を変えて、見る人に分かりやすいようにする。 ・みんなに見てもらえるように、児童玄関近くに掲示する。 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○できるだけ多くの児童に見てもらえるように、西児童玄関と東児童玄関に分けて掲示した。</p> <p>○いつもは言えないようなことも、書くことで伝えることが出来た。</p> <p>○多くの児童が参加してくれた。</p> <p>○児童同士が様々な姿を見ていて、自伸会のことやトイレのスリッパのことなど、様々な意見が寄せられた。</p> </div>	<p>普段、面と向かって言えないことも、書くことで伝えることが出来た。</p>
--	---

取組の成果と課題

- 児童がよく通る児童玄関に掲示したことで、多くの児童の目に留まっている。時々、立ち止まって読んでいる児童もいる。また、自分たちの学年だけでなく、他の学年の掲示にも目を通していった。
- 出された意見には、自分たちの学年以外のことも各児童が多く、日常のちょっとしたすれ違いに対しても、児童が目を向けるようになった。
- 6年生を送る会などの自伸会行事ができない中で、6年生が全校のためにできることはないか一生懸命考え、取り組むことができた。
- まだ参加していない児童が多い。全校の取組として、もっと実施期間を延ばしたり、全校放送で啓発する回数を増やしたりする必要がある。
- 今年度は1階しか取り組めなかった。運動会の後など、学校行事に関連させて行えば、もっと意見が出てくるかもしれない。